GFSC
Good Friends Save the Children

文化芸術を通した夢・希望プロジェクト

当法人が推進しているGFSCは文化芸術を通し、アジア貧困地域子供教育支援及び東日本復興支援活動に実質的な手助けと、希望と勇気を後援者の皆様の温かいご声援のもとに、真心をこめた「文化芸術を通した夢・希望プロジェクト」をお届けしています。

CNBLUE　ジョン・ヨンファ
FTISLAND　イ・ホンギ
パク・シネと共に

国内活動

3.11 東日本大震災の発生により、被災地の子供・家族・崩壊されたコミュニティーへの支援ができないかと考え、宮城県東松島の復興祭支援、宮城県で犠牲になった子供の鎮魂と復興のシンボルとする「青い鯉のぼりプロジェクト」、そして宮城県で最も被害の大きかった石巻市雄勝中学校の皆さんに伝承されてきた太鼓を通して希望・夢をもっていただくべく和太鼓支援及び指導者派遣のワークショップを支援する「希望の和太鼓プロジェクト」、三陸で被害が大きかった岩手県大船渡では、破壊されたコミュニティーの中、韓国語を通して仮設住宅に住む住民たちの交流と心の癒し「希望のコミュニティ形成プロジェクト」を推進してきています。

GFSCが夢見るのは何よりも子供教育支援です！

アジア貧困地域の子供教育支援を通して、悪循環の貧困の状態から抜け出し、
全てが公平で良質な教育の機会を得て、皆が共に幸せな世の中となる事を夢見ています

海外活動

アジアの厳しい環境にある子供たちが、貧困状態から抜け出し夢を叶えてほしいとの願いから、希望の教室（放課後の教室）運営、奨学金支援、食水（井戸掘削）支援、そして図書館建設、トイレ建設などの教育環境を整え、子供達に希望と勇気を与え美しい一つのアジアを作る未来指導者を育成して行く、グッドフレンズプロジェクトを推進してきております。

GFSC文化芸術を通した東日本復興推進プロジェクト

GFSC希望の和太鼓プロジェクト

当法人と雄勝中学校、地元支援団体と三者による希望の和太鼓プロジェクト復興支援調印を取り交わし、まずは和太鼓贈呈、和太鼓ワークショップを通して、太鼓を打ちながら子供達の心が癒され、たくましくなってほしいという心のケアーと町復興、そして日韓交流を通し大震災のトラウマを乗り越える支援活動を開始。

被災の中、幸いにも生徒全員の無事の確認がとれた2011年3月19日からちょうど半年後の9月19日、日頃の練習の成果披露の場として、K-POPフェスティバル"KMF2011"に雄勝中学校生徒を招待。雄勝中の輪太鼓演奏がオープニングを飾りました。『これが全ての始まりでした』と教員の一人が後にかんがい深げに語られるように、石巻市からの初めての遠征でした。彼らの演奏する"黒船太鼓"の力強い音の響きは、韓国のトップアーティストの音楽に勝るとも劣らぬ感動を観客に届け、会場から割れんばかりの拍手が贈られました。

KMF2011の翌20日、東京都中央区立佃中学校と太鼓交流の場を持ちました。閉会の際に雄勝中の代表は『私達は津波で校舎や家、豊かな自然を失いましたが、下ばかり向いてではなく前に向いて行こうと決心しています。また皆さんからいただいた支援に恩返しする気持ちで、太鼓を演奏し続けます』と話し、声援を込めた大きな拍手を受けました。

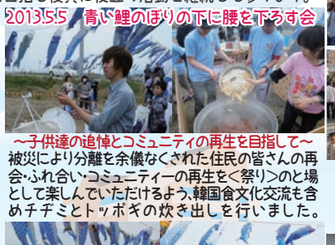
"KMF2011"で「韓国に行ってみたい！」と語った生徒のコメントを聞き、子供達に韓国の文化や美しい自然に触れ楽しい想い出を作ってもらうべく、2012年8月19日から8月23日まで、雄勝中学校教員・生徒全員及びワークショップ支援協力地元文化芸術団体を対象に"希望・夢　韓国の旅プレゼント"を実施。当時、日韓関係は竹島問題等であまり良い関係ではありませんでしたが、子供達は韓国・三政中学校との太鼓を通しての青少年交流、世界的に有名な仁寺洞広場での公演にて演奏、老人専門療養センター慰労訪問演奏、伝統文化・食文化体験・観光を経験しました。また、韓国人気ドラマの監督・出演者が声援に駆けつけてくれるサプライズに、生徒達は顔を輝かせました。

GFSC青い鯉のぼりプロジェクト

2011年3月11日、東日本大震災の日、伊藤健人君は母と弟、祖父母、最愛の家族を4人なくしました。享年5歳の弟、律くんは毎年5月5日に「青い鯉のぼりは僕だね！」と言って鯉のぼりを揚げるのを楽しみにしていたといいます。兄の健人くんは小さな弟の亡骸に対面した時、この声が耳元で蘇り、崩れた自宅跡から青い鯉のぼりを探しあて庭に揚げました。天国で寂しくないように祈りを捧げながら‥

NPO法人日韓文化交流会とGFSCは＜東日本大震災復興支援「希望の鼓」＞で力をあわせる地元の文化芸術支援団体（3D-Factory）と共に当初より復興推進を行ってきました。被災による地元コミュニティーの崩壊は時間が経つことに深刻化を増します。協力する地元文化芸術団体は音楽により「再生する力」「生きる力」を伝えたいと語られます。我々も文化・芸術を通して崩壊したコミュニティーの再生を目指し復興に役立つ活動を継続して参ります。

"M`s Japan Orchestra"に共催として参加。日韓交流次元として韓国の"チヂミ"や"トッポッキ"の炊き出し支援と、韓国トロットの神童といえる歌手＜ジウォン＞さんを招聘。



～子供達の追悼とコミュニティの再生を目指して～
被災により分離を余儀なくされた住民の皆さんの再会・ふれ合い・コミュニティーの再生を＜祭り＞のと場として楽しんでいただけるよう、韓国食文化交流も含めチヂミとトッポギの炊き出しを行いました。

東松島市での震災後初のがんばっぺみんなで夏祭り東松島復興祭＞に生活日用品および韓国料理炊き出しや韓国文化芸術者の派遣など地元の方々との日韓交流と復興に貢献

～手をつなごう日本　頑張れ!!岩手大船渡～

GFSC希望のコミュニティ形成プロジェクト

岩手県大船渡で活動するNPO法人チャイルド・ファンド・ジャパンの要請に応え、コミュニティ崩壊の中、仮設住宅に取り残され困難な生活を余儀なくされている韓国文化に親しんできた地元住民の為、コミュニティ形成の為に、韓国語講座、文化交流・文化体験の場を作りました。これは、文化交流を好きな住民たちの心の癒しプログラムとなりました。2012年7月には「日・韓文化交流会：岩手の共に楽しむ韓国体験」を開き、韓国語のワンポイントレッスンや韓国料理教室など新しいコミュニティ再生と仮設住宅での心の疲れを振り払ってもらうべく復興支援を推進してきました。また、仮設での商店街の再興で話題となった「夢商店街」からの熱い支援要請に応え、2013年10月13日（日）"第2回夢さんま祭り"を盛り上げると共に、大船渡景勝地観光も含め、「夢商店街」を中心に広く地元の活性化と町おこしに新しく貢献できる企画として「夢さんま祭り」支援を行いました。

GFSC福島復興応援プロジェクト

GFSC児童福祉施設支援活動

クリック！

GFSCさらに詳しく見るには、こちらから

GFSC
Good Friends Save the Children